

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2001・7・15 No. 118 発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



私たちが住むメキシコ首都・メキシコシティは、約2千万人と世界一人口の多い大都会です。でも、街の中には大きな公園や広場がいっぱいあって、お母さんがよく散歩に連れていってくれます。下町にあるアラメダ公園は広々としているので、私たちの大のお気に入り。アイスやお菓子を食べたり、噴水の水をひっかけあったり楽しいんだよ。小さな弟や妹は手が届かないから、手のひらですくって、おすそ分けします。

(写真・文 平早 勉)

第9回《キダー・フィルム・フェスティバル》 7月28日～8月5日に《こどもの城》で

映画をとおして いろいろな国の文化と出会う

第9回《キダー・フィルム・フェスティバル》が、今年も7月28日～8月5日に《こどもの城》のBスタジオほかで開かれます。世界的に知られているベルリン国際映画祭の一部門である《キダー・フィルムフェスト・ベルリン》で公認された、日本でただ一つの国際子ども映画祭です。子どものために作られた映画やアニメーションが世界中から集まります。子ども審査員が審査にあたる「コンペティション(ドラマ部門、アニメ部門)」参加作品の上映のほか、秀作短編アニメーションの上映、声優を体験するワークショップが行われます。

子ども審査員がグランプリを決める

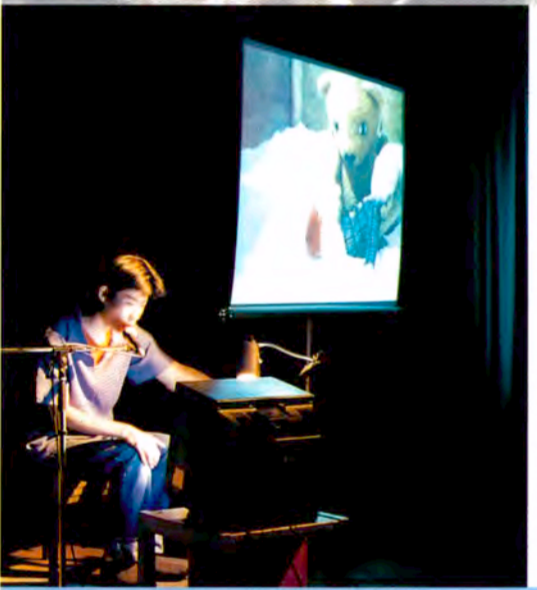
コンペティションには、ドラマ部門(5作品)、アニメ部門(4作品)がノミネートされています(予定)。審査にあたるのは、小・中学生の子どもたち。海外の作品は、声優がライブで吹き替えをする(ボイス・オーバー方式)で上映します。映画は、スクリーンに映し出された画面と音(セリフや音楽、効果音など)を同時に見て聞いて楽しめます。ドラマのような作品では、音(特にセリフ)の役割は大きくなります。日本の映画を見るように、画面と音(セリフ)の両方を楽しめるように、(ボイス・オーバー)という方法で上映します。元の映画の音のボリュームを少し下げ流し、日本語のセリフを声優がライブ

で吹き替えます。海外からのニュースのときに、テレビで使われる同時通訳のような感じです。字幕の文字を読む必要がないので、画面に集中して見ることが出来ます。

《キダー・フィルム・フェスティバル》では、いろいろな国の映画を見ることが出来ます。地球上にはさまざまな国・地域があり、人々はそれぞれの社会・文化のなかで生活しています。共通するものもあれば、異なるものもあります。共感できることもあれば、そうではないこともあるかもしれません。でも、みんな地球に住んでいる人間です。

この映画祭では、自分たちが住んでいる世界とは異なる世界(暮らしや考え方など)と出会うことが出来ます。

(背景の写真は、グランプリ作品を発表する「子ども審査員」)



7月28日～8月1日に「声優体験ワークショップ」

〈ボイス・オーバー方式〉の上映で声の出演をしている、代々木アニメーション学院声優タレント科のみなさんの協力を得て、小学生高学年以上を対象に「声優体験ワークショップ」を開催します。台本にあわせてセリフの練習をして、5分程度の短編アニメーションの「吹き替え」を体験、発表します。

※「声優体験ワークショップ」に参加希望の人は、キダー・フィルム・フェスティバル実行委員会事務局【☎03-3327-8670】へ、お問い合わせください。

もとの作品の意図が伝わるように

〈ボイス・オーバー方式〉を担当している、代々木アニメーション学院の細越幸司講師にお話をうかがいました。外国から送られてきた作品をなんどもなんども見て、作品がなにを訴えたいのかをくみとり、俳優・キャラクターの細かい表情をおいかけながら、子どもたちに分かるように、言葉を探して吹き替え用の台本を作ります。そして、映画のなかの俳優・キャラクターが生き生きとしているかどうかを考えながら演出しています。

子どもたちが、あきることなく、しっかりと映画の世界を楽しんでもらえるように、と苦心しています。映画を見終わって、「おもしろかった」と言ってもらえると、声優のみんなもうれしくなります。ライブで吹き替えをしているのを見る機会は少ないので、吹き替えしているほくらのほうばかり見てくれるんですが、それは困るんです。映画のほうを見てくれないと……(笑)。

映画を好きになって、楽しんでください

「子どもたちのために、よい映画を見つけて、出合わせる」と話すレナーテ・ツィラさんは(キダー・フィルムフェスト・ベルリン)のディレクター。16年にわたって映画祭の運営にたずさわってきました。子どもたちの映画に取り組んできたツィラさんから、キダー・フィルム・フェスティバル実行委員会をつうじて、日本の子どもたちへメッセージが送られてきました。

「まずはじめに、日本の子どもたちに「コンニチハ」。映画を好きになって楽しんでほしいと思います。フェスティバルは、自分の国以外



の国の映画を見るよい機会です。世界は丸く、異なった文化が広がっています。その「世界(いろいろな文化)」が自分のところにやって来るのです。自分の信じていることをあきらめてはいけません。大きなスクリーンで学ぶことができる映画を楽しむべきです。映画にはとても多くの可能性があります。

(キダー・フィルムフェスト・ベルリン)では、目が不自由な子どもたちのために、昨年「映画を聞くプロジェクト」と呼ばれる試みにもチャレンジしています。

【コンペティション参加作品(予定)】

『ベルリンエンジェル』
(監督=Andrea Katzenberger/ドイツ/88分/2000/35mm)

ボリーヌ、9歳、おてんば娘。家族のすばらしさを知れば、男の関心が再婚したいと考えている母親に向かうと、いろいろな作戦をたてるのですが……どんでんエスカレートしてとんでもない事件に。

『NAGISA』
(監督=小沼勝/日本/89分/2000/35mm)

60年代の湘南・江ノ島。母親と二人暮らしの12歳のなぎさは、夏休みに海の家のアパートに精を出しています。ある日、東京からやってきた少年に出会い、水泳を教えるうちに、あわい恋がめばえていきます。

『独立少年合唱団』 (監督=緒方明/日本/129分/2000/35mm)

舞台は70年代の全寮制の中学校。転校生の道夫はいじめにあっていました。康夫にさそわれて合唱団に入り、友だちになります。顧問の教師のもとに女が逃げ込んで来たことから、時代の波にさらされることに。

『神さま お願い!』
(監督=Caecilia Holbek Trier/デンマーク/25分/2000/35mm)

名字がへんだと言われて、クラスの仲間とますますなくなった7歳のスザンヌ。同級生の父親と自分の母親が結婚すれば、名字が変わる——毎日、神様にお願いしました。ところが、それが現実……。どうしよう、神さま!

『白いときめき』
(監督=Liliana Sulzbach, Angela Pires/ブラジル/21分/2000/35mm)

母親との毎日の散歩だけが楽しみの全盲の少年フレディ。ある日、公園で声をかけてきた少女と散歩に。母親は、迷子になったのではないかと心配して捜し回ります。その翌週は、散歩に連れていってもらえないことに。

『となかいロビー』
(監督=Richard Golezowski/イギリス/29分/1999/35mm)

その年いちばんのトナカイを決める競技会。恋のライバル出現で、がんばるロビー。彼女のハートをいともたたくために、きびしい修行を積んで、競技会にいでます。パペット(人形)アニメ。

『フリーダンス』
(監督=Janet Perlman/カナダ/10分/2000/35mm)

いじめグループの目標にされた子どもは、どんでん追いつけられていきます。いじめの内容もエスカレートしていきます。でも、いじめた子どもも、家庭では虐待を受けていたのです……。

『ルドビック〜おじいちゃんちへ行く』
(監督=Co Hoedeman/カナダ/11分/2000/35mm)

ティベアのルドビックは、夏休みにおじいちゃんの家へひとり遊びに行き、のんびりといなかの生活を楽しんでいます。死んだおばあちゃんの写真が、ほほえみかけ、いろいろな思い出がよみがえってきます。

『レックス・ザ・ラント』
(監督=Richard Golezowski/イギリス/20分/1998/ビデオ版)

ゆかいな犬たちがくりひろげるドタバタ・コメディの粘土アニメ・シリーズ。スパゲッティにされそうになって逃げ回る「カルボナーラ」、モアイ像そっくりな宇宙人たちにつかまってしまった「モアイとの遭遇(そうぐう)」の2本を上映。

※このほかにも、たくさん短編アニメーションなどを上映します。

くわしいことは——
キダー・フィルム・フェスティバル実行委員会事務局【☎03-3327-8670】、(こどもの城)AV事業部【☎03-3797-5664】へお問い合わせください。

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE FUJITSU

ブロードバンド対応で、ひとつ先のインターネットへ。

FMV DESKPOWER www.fmworld.net

FMV BIBLO www.fmworld.net

FAX 本広告の製品カタログをFAXにてお送りします。千葉:043-299-3642 大阪:06-6949-3270 資料番号1141~1143, 1151~1153

【人形劇カーニバル】上演時間(9階研修室)

Table with 4 columns: Date (8月16日, 17日, 18日, 19日) and Time (11:00, 13:00, 14:00, 15:00). Rows list puppet shows like 'アヒルにたいさく大作戦!' and 'おさかなだいすき!'.

8月16~19日 人形劇カーニバル

“友だち”テーマに8劇団が公演

新聞紙を使った人形作りのワークショップも

7回目を迎えた、夏休み恒例の「人形劇カーニバル」が、8月16~19日に研修室で開かれます。テーマは「ともだちって……」。友だちがいることのすばらしさ、友だちの大切さなど——人形劇をとおして“友だち”を考えてもらおうというものです。

ビデオやテレビなどとは違って、観客の目の前で演じ手が人形を操る人形劇は、観客は演じ手の、演じ手は観客の息づかいを相互に感じながら、一体となって人形劇を楽しむ醍醐味があります。ライブならではのおもしろさです。

8つの人形劇団が日替わりで公演します(上のスケジュール表参照)。また、公演のほかに、「身近な素材で人形づくり」のワークショップも行います。新聞紙を使った人形で、どなたでも参加できます(受付時間は、午前10時~午後4時30分)。



一日ワークショップ参加者募集中

夏休み期間中に行われる、造形、映像・科学、手作り楽器などの「一日ワークショップ」の参加者も募集しています。まだ、定員に余裕のあるコースもあります。1階講座受付【☎03-3797-5666】でお確かめの上、お申し込みください。



夏休み期間中毎日遊べる「夏休みフリーパス」発売中。7月20日~8月31日が(こどもの城)の夏休み特別期間(月曜日も開館)。

公開講座「みんなで子育て」開く

互いに自分育てをするのが子育て

公開講座「みんなで子育て」の1回目「お風呂はどっちがいれる?~お父さんの育児参加」が6月6日に(こどもの城)で開かれ、夫婦で参加した人を含め、約25人が受講しました(写真左)。

—男親がおしめ替えを手伝うという場合、小便是よいが大便はダメということが多く、女親にしてあげ、おしめ替えを手伝うなら大便のときも取り替えてという気持ちがある。男親は子育てはここまで、女親はどうせするならここまで、というようにそれぞれが考えていること——を具体的な例をあげて示しました。



▲体験をもとにした広岡教授の話に聞き入る参加者

なんでこんなことが、と思うことが、妻にとっては大きな意味を持っていたり、ひやかしのつもりの何気ない言葉が妻を大きく傷つけること

になったり、夫婦の間で一つひとつ問題を解決しながら子育てをしてきました。私の妻も、子育てに追いかけられて自分育てがおろそかになるという不安を感じていました。そんなとき、まさききに手助けするのは夫ではないか。子育てとは、互いに互いに自分育てをしていくこと。親が子どもの自分育てを支えるのが子育てで、ときには、子どもが親の自分育てを支えることもあるのではないかと、みんなで子育てする意味を分かりやすく話しました。



▲「遊び」いっぱい(こどもの城)

「走れ! キャッスルトレイン~こども鉄道模型運転会」が6月2~10日に開かれ、電車好きな子どもたちがいっぱい集まり、大きい子はNゲージの模型の運転、小さい子はプラレールを楽しみました。今回は、12月初旬に開催する予定です。

L.I.T. 8月25日と26日にキャッスルミステリーアドベンチャー 小学校1~3年生を対象にした「遊びのプログラム」

L.I.T.(Leader In Training)のメンバーが、年間の活動のまとめとして企画・運営する夏休みプログラム「キャッスルミステリーアドベンチャー~キャッスルガーディアンズ=秘密特殊部隊」が、8月25日と26日に行われます。小学校1~3年生を対象とした、遊びのプログラムです。L.I.T.は「こどもの城」を活動の場にして、社会参加の体験をする高校生のグループ。

初めに公の場に姿を現し、体制を強化するためにメンバーを募集することになりました。「こどもの城」の安全を守るキャッスルガーディアンに参加したい人は、下記にお申し込みのうえ、トレーニングに参加してください。トレーニングが行われるのは、8月25日と26日。定員は、各日30人(小学校1~3年生)。午前10時~午後4時。活動内容は、当日まで秘密(注:「こどもの城ニュース」編集部でも、必死に取材を試みたのですが、どうしても分かりませんでした)。

料などを含む)。7月29日午前11時から電話で先着順に受け付け。参加希望日を決めてからお申し込みください。お問い合わせ・お申し込みは、企画研修部内「キャッスルガーディアン」募集係【☎03-3797-5675】へ。

高校生ボランティア L.I.T.(Leader In Training)の新規メンバーを募集

L.I.T.は、社会参加(ボランティア活動)の意義や喜びを体験的に学ぶ高校生グループ。「こどもの城」を活動の基盤として、子どもたちの

「遊び」をテーマにさまざまな活動をしています。活動は、9月から翌年8月までの1年間。毎月1~2回程度、日曜日を中心に活動します。春休みや夏休みには「こどもの城」に遊びにくる子どもたちを対象にした遊びのプログラムを、自分たちの手で企画・実施するほか、キャンプなどの野外活動にも参加します。募集するのは、高校1~2年生。受講料は年間6,000円。8月10日午前10時から電話で受け付け。お問い合わせ・お申し込みは、企画研修部【☎03-3797-5675】へ。



▲「キッククラブ」(小1~4)のメンバーが、6月23日に代々木公園で水鉄砲を使った遊びのプログラムを実施。お父さんもいっしょに林のなかを走り回りました。

中・高校生を対象に「ガムラン体験一日教室」が6月24日に行われ、インドネシア・ジャワ島のゆったりとした青銅の打楽器を体験。Aスタジオ全体を包む響きを全身で感じました。「こどもの城」には、子ども(小1~高3)を対象にした「ガムラン講座」があります。くわしくは、講座受付係へお問い合わせください。

Summer Camp advertisement for NASA. Includes text: 'この夏、ナサで楽しく遊ぼう!', '小学1年~', '夏期講習', '完全マンツーマン授業', 'NASA 03-5393-3348', 'http://www.nk-nasa.com'.

こどもの城・キリン・ファミリー劇場 さっちゃんの大冒険 8月24~28日 青山円形劇場 葉っぱのぱはパワーのぱ

夏休み恒例の「こどもの城・キリン・ファミリー劇場」が、8月24~28日に青山円形劇場で開かれます。16回目を迎える今回は、93年(平成5年)の「こどもの城・キリン・ファミリー劇場」で好評を博した、劇団青い鳥の「さっちゃんのヘンテコリン大冒険」の第2弾、「葉っぱのぱはパワーのぱはさっちゃんの大冒険」(作=天光真弓、演出=芹川藍、

出演=天衣織女、天光真弓、葛西佐紀ほか)です。小学生の内気な女の子・さっちゃんが、雲の国からやってきたプトリ姫と召使のブンパンといっしょに、病気になるって元気のない木の精に「力の素」を届ける冒険物語です。さっちゃんは、いろいろな難関を乗り越えて、無事に木の精を元気にすることができそうですか? 内気なさ

っちゃんが、勇気を出してがんばった物語をお楽しみください。しばらく劇団活動を休んでいた、劇団青い鳥が「子どもと子どもの心を持った大人のため」に久しぶりに贈る、心温まるファミリープログラムです。上演日時=8月24~28日(24日=2時30分と7時、25~28日=11時と2時30分)

Advertisement for Inoue-Kabuki Hori-Mix '大江戸ロケット' and Pantance. Includes text: 'INOUE-KABUKI HORI-MIX 「大江戸ロケット」', 'PANTANCE', '8月9~10日 ¥4,000円'.

Advertisement for Inoue-Kabuki Hori-Mix '大江戸ロケット' and Inner Trip. Includes text: 'INOUE-KABUKI HORI-MIX 「大江戸ロケット」', 'INNER TRIP', '8月7~8日 ¥4,200円'.

Advertisement for Inoue-Kabuki Hori-Mix '大江戸ロケット' and Viva Mexico. Includes text: 'INOUE-KABUKI HORI-MIX 「大江戸ロケット」', 'VIVA MEXICO!', '8月24~25日 ¥3,800円'.

こどもの城のボランティアが行ってきた「チャレンジゲーム大会」や体育部門の「おにごっこ」をテーマにしたスポーツ遊び、音楽部門の音楽遊びのプログラムを紹介。みんなで遊びを「体験」しました。その後、4つのグループに別れ、「あそびのフェスティバル」に向けた話し合い。一緒に遊びを体験したことで、各グループともうひとつ活発な話し合いが行われました。なかには、手作りおもちゃを持参してきたところもあり、その作り方や遊び方に質問が集まるなど、さっそく情報交換している姿も見られました。各グループから、折り紙を含むクラフト系の活動をしているところが多いようなのでそれを取り入れて帰るクラフト系のワークショップはどうか、人形劇などの公演系プログラムでは統一テーマを設けたらどうか——などの意見が出されました。今後、各館にもどって遊びのプログラムを検討、実施した活動プログラム内容を文書にし、それをもとに次回の担当者会議(9月29~30日)で内容を固めていくことになりました。打ち合わせの機会に限られることなど、準備に向けての課題はたくさんありますが、全国の大規模児童館のボランティアが一室に会して交流を図る「じょいんフェスティバル」がいよいよスタートしました。

「遊び」いっぱい(こどもの城)

「走れ! キャッスルトレイン~こども鉄道模型運転会」が6月2~10日に開かれ、電車好きな子どもたちがいっぱい集まり、大きい子はNゲージの模型の運転、小さい子はプラレールを楽しみました。今回は、12月初旬に開催する予定です。

「キッククラブ」(小1~4)のメンバーが、6月23日に代々木公園で水鉄砲を使った遊びのプログラムを実施。お父さんもいっしょに林のなかを走り回りました。

中・高校生を対象に「ガムラン体験一日教室」が6月24日に行われ、インドネシア・ジャワ島のゆったりとした青銅の打楽器を体験。Aスタジオ全体を包む響きを全身で感じました。「こどもの城」には、子ども(小1~高3)を対象にした「ガムラン講座」があります。くわしくは、講座受付係へお問い合わせください。

「遊び」をテーマにさまざまな活動をしています。活動は、9月から翌年8月までの1年間。毎月1~2回程度、日曜日を中心に活動します。春休みや夏休みには「こどもの城」に遊びにくる子どもたちを対象にした遊びのプログラムを、自分たちの手で企画・実施するほか、キャンプなどの野外活動にも参加します。

「遊び」をテーマにさまざまな活動をしています。活動は、9月から翌年8月までの1年間。毎月1~2回程度、日曜日を中心に活動します。春休みや夏休みには「こどもの城」に遊びにくる子どもたちを対象にした遊びのプログラムを、自分たちの手で企画・実施するほか、キャンプなどの野外活動にも参加します。

Information section with logo 'INFO-MESSION INFORMATION' and text: '青い鳥のボコペンランド 第16回 こどもの城・キリン・ファミリー劇場「葉っぱのぱはパワーのぱはさっちゃんの大冒険」', 'お問い合わせは、青山劇場予約センター【☎03-3797-1400】へ。'